

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマートあまがさき		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の「やりたい!」を活かす姿勢作り	日々の集団活動、療育では職員と児童が互いに提案しあい充実した時間を過ごせるように工夫している、個別的に職員と児童が関わられるように個別で何をするか相談と計画し実行出来るように努めている。	個別的な関わるでは児童の要望を更に取り入れて活動の場を広げたい、発達や年齢に応じた活動を更に展開出来るように職員の資質向上に努めたい。
2	児童が安心感を持って通所している・通所を楽しみにしている。	児童の特性や個性を優先的に考え、職員への情報共有や新任職員への引き継ぎを丁寧に行っている。また、保護者に対して積極的に連絡を取り、不安な点や不明な点、また支援内容に対する説明を丁寧に行うことを心掛けている。	職員が満遍なく児童に対応できるような体制を構築する。また、臨時の利用希望に対しても可能な限りいけるように人員体制を強化していく。増加する利用希望に対応できるように営業日を増やす検討を行う。
3	スタッフ間での連携、共有が出来ている	研修や訓練、日々の支援に関する毎日の話し合い等スタッフ間での情報共有をしっかりと行っている。わからないこと、何かイレギュラーなことが起こった場合にそのままにせず、すぐに連絡、相談を全員が行うように心掛けている。	情報の共有後、保護者への周知がまだ薄い部分がある。こまめに連絡をとり、周知を心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の研修への取り組みが不十分	日々の支援に追われて研修を受けに行く時間を十分にとることが出来ていない。	積極的に研修を受けられるように声掛けをしていく。
2	地域で他の児童と活動する機会の提供など地域との関わりや接点が少ない。	児童との基本サービスの提供に時間が割かれ左記のような特別な取り組みに資する時間が確保できない。また、児童が個別に地域の学校と交流の接点を持っている為、事業所として取り組む必要性を強く感じていない。	他事業所の取り組みを参考にしながら、当事業所での取り組み方を検討する。また、保護者に対しても特別な取り組みを行う日は、基本的なサービスの提供が難しくなる可能性を理解して頂く。
3	父母の会や保護者会の開催、またきょうだい児の交流の機会などが乏しい。ペアレントトレーニングや研修会・情報提供の機会が乏しい。	父母の会や保護者会やきょうだい児の交流については、曜日や時間の設定が難しく開催ができていない。ご家族を対象とした支援プログラムを専門的に構築できていない。また、研修会や情報提供についても開催の方法等の組み立てで躓き先に進んでいない状況。	父母の会や保護者会については平日の午前中に開催できないか検討を進める。きょうだい児の交流は対象となる為職員の出勤調整も含め調整が可能か検討する。また、長期休み中の期間での開催も検討。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス・アニマートあまがさき

公表日 2025年 2月 9日

利用児童数

20名

回収数

18名

	チェック項目	はい				どちらとも いえない		ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	86%	14%	0%	0%		スペースを広くとるように物の配置など工夫を凝らし、安全に配慮していております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	83%	17%	0%	0%		質の高い職員の人数を増やし定着させ、子ども達がより安全に安心して成長していけるようにしていきます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	79%	21%	0%	0%		消毒スプレーや漂白剤など、必要な衛生物品を使い、換気等にも配慮しながら感染症予防等に当たっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		常に換気を行い常時空気清浄機をつけ冬場は加湿器を設置して、利用児童が過ごしやすい清潔な空間を心掛けております	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	57%	23%	0%	20%		子ども達の将来に役に立つよう、様々な体験活動を取り入れ、また子供たちの意見を尊重し楽しんで頂けるようにしています	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	79%	10%	0%	11%		お子様にも活動を理解していただき自分で最後まで出来るように支援しております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	86%	14%	0%	0%		計画内容についてよりわかりやすく説明をし、伝えていく。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	子どもに個人差があるが、その子に合った進め方をしてくれていると思います。できた時、できなかった時、伝えてもらえるので安心していきます。	個別性に配慮しながら、ガイドラインに乗った計画を立案しております。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		ご家庭での困りごとや課題について共通理解を行い、保護者様の負担を軽減できるようにしていきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	83%	0%	0%	17%		個別支援計画に準じ対応改良に努めています。児童の状況に応じて適宜カリキュラムを変化させる様努めます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	27%	10%	0%	63%		今後必要性を検討していく。必要としている人がどれくらいいるのかヒアリングしていく。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	日々の連絡帳で、その日行ったことを伝えてもらっています。	入所時にしっかり時間を掛けて説明を行い、理解をしていただくようにしております。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		今後も密に積極的な連携を行い、より細かなアセスメントの質的向上に努力してまいります。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20%	10%	0%	70%		子育てへの質問、相談はその都度お受けしております。感染症予防の観点よりペアレントトレーニングは実施しておりま	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	90%	10%	0%	0%	日頃から、少し変わった様子などがあればすぐに教えてくださっています。	多忙な保護者様もおり時間をとることが難しい場合もあるが出来るだけ丁寧なコミュニケーションを心掛けてまいります	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	90%	5%	0%	5%	日々の出来事、できた事、できなかった事、子どもに対しての対応のし方を教えられています。	保護者の方が気軽に相談しやすい雰囲気づくり・環境づくりをおこなっていただけるように引き続き努めてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		今後も個別支援計画に乗っ取り一人ひとりの特性に寄り添いながら支援を行ってまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0%	0%	68%	32%		感染症予防の観点より、現状は保護者会等の開催は行っておりませんが、要望があれば可能な限り検討していきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%	8%	0%	0%	子どもに合った過ごし方をしてくれていると思います。親が分からない事があれば、わかるまで教えてくれています。	今後もご相談有無に関係なく、日々アンテナを張って迅速に対応し改善してまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	10%	0%	0%		毎回の療育時に保護者へ、その日の取り組み内容について報告しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	92%	4%	0%	0%	ホームページの写真いつも楽しみにしています！	ホームページにて自己評価表を開示するとともに、活動概要等の情報もブログなどを活用しながら積極的に発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	契約する時に説明頂きました。	契約時にご説明させていただいた通り、個人情報保護法に沿った内容をとっております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	92%	8%	0%	0%	事業所に入るとまずは手洗いを徹底しているの、感染対策は大丈夫だと思います。	保護者様にも閲覧いただけるように各種マニュアルを用意しており、保護者への周知、説明に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	82%	0%	0%	18%		引き続き定期的なマニュアルの確認及び修正を行い、周知徹底を行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		連絡を今後も速やかに行い、もし起こった場合のことも対応の詳細を伝えていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		保護者様とのコミュニケーションを更に密に図るべく、継続して行きわかりやすい伝達手段をおこなってまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		利用されている皆様に安心感を感じていただけるよう、より良い事業所を目指していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	とても楽しみにしています。	今後も、子ども達の将来に役に立つ事が出来る様に、様々な体験活動を取り入れ、楽しんで頂けるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	できることが増えてきて大変うれしい。	保護者の方が気軽に相談しやすい雰囲気づくり・環境づくりをおこなっていただけるように引き続き努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス・アニマートあまがさき				公表日		2025年 2月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	スペースを広くとれるように物の配置等工夫している。	曜日等で児童数が増減しますので、引き続き臨機応変に対応してまいります。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	70%	30%	人員配置基準を守り、加算要件を満たす配置を行っている。	曜日等で児童数が増減しますので、引き続き臨機応変に対応してまいります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	70%	30%	子ども達が過ごしやすいようにパーテーションをつけたり、床材を工夫している。	今後起こりうるケースなども想定したうえで、可能な限り適切な環境の整備を行なっていければと考えます			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	600%	200%	定期的に掃除を行い、清潔に努めている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	70%	30%	パーテーションを配置して個別の空間を作っている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	日々、申し合わせの機会を作っている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	頂いた意見を参考に業務の改善に努めている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝礼・送り終了後に機会を作っている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	※第三者による外部評価は実施していない。	今後必要に応じて検討していく			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%		都度必要に応じて検討していく。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	作成、公表を行っている。				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	子供たちや保護者からしっかり話を聞いたうえで計画作成を行っている。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員間で話し合い、全員の意見を共有して検討し作成している。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員間全員で共有している。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%	子どもの状況をしっかり把握し、活動内容を考えて計画を立てている。	今後も子供の状況をしっかり把握したうえで活動内容を考える。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	86%	14%	児童発達支援管理責任者が計画を作成し、仮案をもとにみんなで話し合いをして支援内容を決定	今後も、具体的な計画を作成し支援に繋げていく			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%	毎月、会議を行い活動内容を意見を出し合い作成している。	今後も、毎月の会議にて、話し合いして作成していく。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	毎月の、活動内容の会議の際に、季節のものなど新しいイベントごとを立案している。	今後も、プログラムに変化を付けていく。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	子どもの状況をしっかり把握し、活動内容を考えて計画を立てている。	今後も子供の状況をしっかり把握したうえで活動内容を考える。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	日々連携・共有を図っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	日々連携・共有を図っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	連絡帳に細かく記載するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	86%	14%	定期的に計画の見直しもやっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	86%	14%	行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	86%	14%	自らの意思を伝えるのが難しい利用者が多いが、思いをできるだけ取り取って、本人にとって良い選択ができるように関わっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0%	100%	※参加しておりません。	今後必要に応じて検討していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	連携し情報を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	連携し情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%		今後必要に応じて支援を円滑に行うためにも保護者に確認の上、就学前にいた施設に連絡していくようにしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%		未だ該当者が発生しておりません。今後必要に応じて情報提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		今後実施を検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%		地域の方との交流は、必要性を感じない保護者さんも多く、特に出来ていない。今後必要性を考えながら取り入れていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	特に参加はしていない。	今後、必要性を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	子供の状況をしっかり把握し、保護者とどういったことに留意した支援が必要かを平日頃より話し合いを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		子育てへの質問、相談はその都度お受けしております。感染症予防の観点より現状はペアレントトレーニングは実施しておりません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時、その他、必要に応じて説明している。	全職員がしっかりと理解し、説明できるようにしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	86%	14%	自らの意思を伝えるのが難しい利用者が多いが、思いをくみ取って、本人にとって良い選択ができるように関わっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	都度説明を行っており定期的に計画の見直しもやっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	悩みがあれば相談してもらい、職員間で話し合いし対応させてもらっている。	今後も、相談しやすい関係づくりを大切にしていきたい

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	コロナ感染防止により、十分に行えていないままになっている。	ニーズに応じて実施を検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情がある場合には対応している。	今後も、苦情に対して周知徹底し、話し合い同じことが起こらないようにしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	実施に関して連絡帳、活動実績に関してはブログにて発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付き書庫を用いて、厳重に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	児童の特性を把握し、配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		交流を嫌がる保護者さんも多く、難しい部分もあるが地域住民の理解を深める為にも、可能なのであれば検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	発作マネージメントシートを作成し利用開始時に記入してもらっている。内服の状況も随時確認をとっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーの有無を確認している。	引き続き保護者の方と相談しながら、対応を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	研修を行って計画を作成している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	定期的に行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	その都度会議でヒヤリハットについて話し合い、全員で共有している。	今後も、ヒヤリハットに関して、あれば話し合いをし事故防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待に関する研修を行っている。	今後も、研修を行う。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	必ず記載し、説明を行っている。	今後も、子供の安全のために制限しないといけないことがあれば、事前に保護者に説明し了承を得る。	